

エンゼル型映像ビジネス投資の説明

= 投資の仕組み =

1 投資の仕組みと、DANnashプロジェクトの役割

DANnashシステムは、映像ビジネスに必要な資金を求めている映画制作などのプロジェクトを募集し、投資する投資家を募集するというものです。

投資は、匿名組合方式で行われます。

DANnashシステムに関し、このシステムを構築したDANnashプロジェクト、および活動母体である特定非営利活動法人アートポリス大阪協議会の役割と責任は以下の通りとします。

- (1) DANnashプロジェクトは、映像産業都市・大阪をめざし、映画を『作る』『見る』『売る』都市機能を構築する活動の一環として始めました。その活動母体である特定非営利活動法人アートポリス大阪協議会は、映像ビジネスに参加しようとするあらゆる立場の方々に、参加の機会と場を提供する活動を実践しております。
- (2) DANnashシステムも、将来に可能性を持っているにもかかわらず、世に出る機会に恵まれない映画制作者たちが作ろうとする映像ビジネスプロジェクトなどに出資を募る機会と、映像ビジネスに興味と理解を持つエンゼル投資家に投資する機会と場を提供しようという主旨のシステムです。
- (3) このシステムは、投資を受けたいとする映像ビジネスプロジェクトと、エンゼル投資家が個別に契約して出資関係を形成する、匿名組合方式を採用しております。
- (4) 従って、映画ファンドのように、証券等を発行して投資資金を運用するというものではありません。
- (5) 投資を受けたい映像ビジネスプロジェクトと投資家は匿名契約を結び、両者は契約書に規定された約定に従ってそれぞれの履行義務を果たしていただくこととなります。
- (6) つまり、投資を受ける映像ビジネスプロジェクトと投資家のそれぞれが契約当事者として、責任を持つこととなります。
- (7) 以上の理由から、DANnashプロジェクトおよび特定非営利活動法人アートポリス大阪協議会は映像ビジネスプロジェクト、投資家のどちらに対しても一切の保証をするものではありません。
- (8) よって映像ビジネスプロジェクトと投資家の間にトラブルが生じても、契約当事者間で解決していただくかなくてはなりません。
- (9) DANnashシステムでは標準的な匿名契約書を提供しますが、契約書の内容についてもDANnashプロジェクトおよび特定非営利活動法人アートポリス大阪協議会が責任を取ることはありません。

このエンゼル投資システムは、DANnashプロジェクトおよび特定非営利活動法人アートポリス大阪協議会が出資するものではありません。映像ビジネスプロジェクトに応募いただいても、投資家が集まらなければDANnashシステムは実行されません。

2 DANnashシステムの概要

DANnashシステムは、映像ビジネスを企画しているプロジェクトを募集し、気に入った映像ビジネスにエンゼル投資をしようとするエンゼル投資家を集め、映像ビジネスプロジェクトが投資家に直接プレゼンテーションなどをして出資を募る、場と機会を持つというものです。

映像ビジネスへの継続的な投資の機会や、新たな投資ビジネスを育てる目的として実施します。2004年上半期に開催する今回の第1シーズン事業が初めての事業となります。

この事業の意義や目的をご理解いただき、映像ビジネスとして資金を集めたいと希望する方々や、我々の主旨に賛同いただいて、映像ビジネスへの投資システムに興味を持たれたエンゼル投資家の方々はふるってご参加ください。

資金を集めたい映像ビジネスの企画を持つ個人や団体を映像ビジネスプロジェクトと呼びます。

はじめに、募集要項にもとづいて映像ビジネスプロジェクトの参加を募ります。

応募いただいたプロジェクトを書類審査し、DANnashシステムの主旨に合致しないものや実行不可能なものを対象から除外いたします。

書類審査を通過したプロジェクトと、このシステムに興味のあるエンゼル投資家を集めて、DANnashシステムに関するオリエンテーションを開きます。

第2次審査として、映像ビジネスプロジェクトにエンゼル投資家の前でプレゼンテーションをしていただきます。プレゼンテーションによって、出資したいという投資家が集まれば、そのプロジェクトは進行いたします。

オリエンテーションからプレゼンテーションまでの期間、および投資家を募集している期間はインターネットなどでプロジェクトをアピールしていただいて結構です。特定非営利法人アートポリス大阪協議会のホームページのDANnash事業のコーナーにプロジェクトのホームページへのリンクを貼るようにします。

プレゼンテーションに参加いただく映像プロジェクトは、1件につき50,000円のエントリー費が必要です。

第1シーズンのDANnashシステムでの出資金の上限は、1プロジェクト当たり300万円です。

必要な出資金が集まり、プロジェクトを開始するには、それぞれの出資者とプロジェクトとの間で、個々に『匿名契約書』を締結して頂きます。この契約締結をもって、DANnashシステムは終了し、DANnashプロジェクトおよび特定非営利活動法人アートポリス大阪協議会は一切関与しません。

『匿名契約書』締結後に、契約書の約定にもとづいて出資金はプロジェクトに支払われます。

出資金の償還または『匿名契約書』の契約期限の満了をもって、当該プロジェクトは終了とします。

3 匿名組合方式の投資とは

映像ビジネスプロジェクトへの投資は、そのプロジェクトが営業者となって個人投資家から出資を募る、商法上の匿名組合方式で行います。匿名組合方式については以下の通りです。

匿名組合とは、当事者の一方が相手方の営業の為に出資をなし、その営業により生じる利益を配分すべきことを約する契約です。つまり、匿名組合員が営業者に出資をし、その経営の一切を営業者に委ね、組合員はその利益分配を受け取る契約です。

営業者と匿名組合員の2当事者の契約であり、3名以上の当事者の存在は認められず、団体性は認められません。従って、匿名組合契約が複数併存しても、匿名組合相互間には何らの法律関係も生じません。

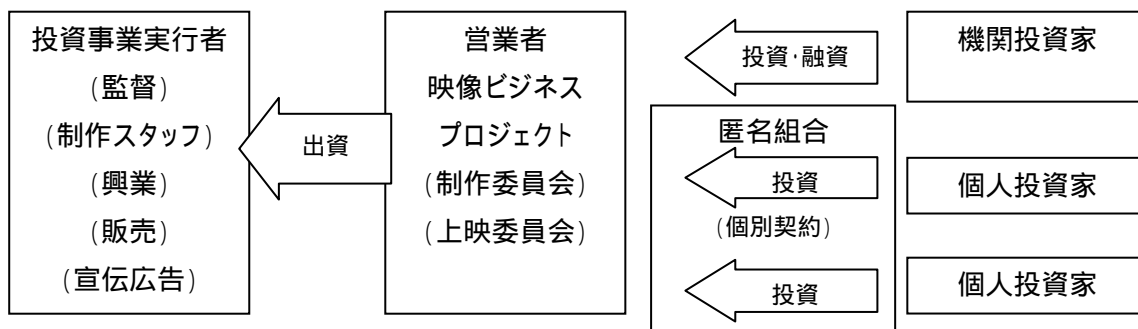
匿名組合は法律的には営業者の単独企業であり、財産は営業者の財産で、営業者の単独所有となり、営業者のみが営業の運営に当たり、匿名組合員には自ら業務を執行する権限はありません。

匿名組合員の出資は、営業者にとっては預かり金と認識されます。

匿名組合員は法人でも個人でも、民法上の任意組合でもよく、非営利団体でもかまいません。

損失額が出資額を超えた場合、匿名組合員が出資額を超えて損失の負担を分担することはありません。

匿名組合の仕組み



上記の解説図において、匿名組合は映像ビジネスプロジェクトであって、DANnashプロジェクトや特定非営利活動法人アートポリス大阪協議会ではありません。

DANnashプロジェクトや特定非営利活動法人アートポリス大阪協議会は個人投資家と映像ビジネスプロジェクトとの契約等に関する助言や指導をいたしますが、金銭のやりとりには関与しません。

出資金の運営、管理、償還等の実施および事務、手続は営業者たる映像ビジネスプロジェクトが行い、投資に関する一切の責任を持ちます。

4 投資の対象と配当

投資の対象となる費用は映画の制作費(タイプA投資)や製作した映画の宣伝広告費、製作した映画をDVDやビデオなどの媒体に加工する費用、興業に必要な費用などです。

配当は、映像ビジネスプロジェクトが実施した事業収支にもとづいて実施されます。

但し、DANnashシステムによる配当などの根拠になる事業収支の計算は、契約期間内に発生した収入・支出と対象に行うことを原則とします。

プロジェクトとの契約期間内に契約され、決済された、テレビなどへの放映権料の収入は対象にされません。

DANnashシステムによる投資家は著作権を放棄するものとします。

出資金および配当金の銀行振込手数料は出資者の負担となります。

問い合わせ

問い合わせはメールで承っております。ホームページの案内か、以下のアドレスにお送りください

artpolis@ifan.co.jp